

な か ま

発行
佐倉市立中央公民館
な か ま 編 集 係

〒285-0025
佐倉市 錦木町 198-3
電話 (043) 485-1801

2 ページ	床屋と葦と口バの耳..... 村田長保	語呂合せと格言..... 宮本定雄
3 ページ	裸の付き合い..... 北原きみ子	参道にて(一期二会)..... 高橋 将

建築模型

石崎 幸助

私の親しい友人に、趣味で建築模型を学んでいる男がいる。彼は五年前から、通信訓練を受講中だが、老眼で細かい部分が見えにくいのか、一向に技術は向上しないが、あきらめずに、意地で続けている。

設計図を基に、教材のストレッチボードを切り刻んで、両面テープで模様入りの洋紙(壁紙)を貼り付け、ボンドで組み立てていく作業。まだまだ、建築模型と言うより住宅模型と言った方が適切なレベルだが、いろいろのいの字も知らずに、秘めた目的を持って、闇雲に受講の申し込みをし、テキストと教材一式を受け取り、暗中模索で始めたそうだ。建築模型にはどのような材料を使うのか、どのような方法で模型として組み立てていくのか、本当にゼロからのスタートであったとか。そもそも、建築模型とは、一

般的に住宅を作る場合、設計図が引かれる。この段階では二次元の図面であるが、建て主がより具体的なイメージを知りたいと望む場合、設計図を基に、二百分の一〜五十分の一の三次元の立体的な模型を作り上げる。小規模な戸建ての外観模型から始まり、間取りの理解できる、いわゆる間取り模型、大規模になれば集合住宅地の棟間の関係などをチェックするためのタウンハウス模型などにも発展する。大型マンションの場合もある。今、彼が挑戦中なのは戸建ての住宅模型に過ぎないが、最近ではやっと間取り模型に着手できるようになったようだ。

彼は、「最初は外観を中心にした模型で、窓等も外壁に塩ビ板の絵を貼り付けるだけだったが、最近では少しずつ手が込んできて、塩ビ板で作った窓状

の部品を窓枠へはめ込むまで進歩してきた。何せ一つひとつの工程が思ったより細かい作業であり、各パーツを切り出すのも正確な直角が出せていないと、組み立てていく段階で歪んでしまう。三角定規やスコヤの使い方も重要だ。ストレッチボードから部品を切り出すときも、カッターの刃をキチッと垂直に入れないと、組み立てるとき、これも歪んでしまう」と説明し、「いずれにしてもヘソが曲がっていても、良い仕事ができない。しかし、一軒の住宅模型を作り上げたときは、それはそれは、格段の満足感が味わえる」と強調する。

彼の理想は印旛村にある日本医大千葉北総病院のロビーに飾られている大規模な鳥瞰模型が目標というが、生あるうちに実現するか否か。しかし、彼はまだ七十の渾垂れ小僧、案外ねばりにねばって実現するかも知れない。

(編集委員)

床屋と葦とロバの耳

ミダス王の「王様の耳はロバの耳」の話は私の好きなギリシャ神話の一つである。まず「床屋」という庶民的、今日の人物が登場するのが良い。床屋といえば「セビリヤの理髪師」を連想するが、恐らくフィガロという人物はミダス王の床屋からインスパイヤされたのではないか。英語の辞書で barber を引くと「おしやべり」を意味する用例がでてくるが、これもミダス王の床屋を思えばナットク。日本でも式亭三馬の『浮世床』などがあるから、床屋のイメージは洋の東西共通なのだろう。王の秘密を知った床屋は喋りたくて堪らず、遂に庭に穴を掘り、その穴に向かつて「王様の耳はロバの耳」と大声で叫び鬱憤を晴らす。この対処の仕方神話らしからぬ、手近かで窮余の一策という感じが良い。叫んだあとその穴

を元通りで埋めておくという善後策も、いかにも床屋の律気さが看取できて微笑ましい。

そしてフィナーレの「風にそよぐ葦」で私は長編小説の最後の一行を読み終えたようなカタルシスと、それを超える究極のノスタルジックなロマンに陶然となる。

穴を埋めた所から葦が生えて、風が吹く度「王様の耳はロバの耳」とそよぐ葦が囁くというエピソードだ。神話的でありながら同時に人生の哀感をもたつぷり味わわせてくれる、実に美しいラストではないだろうか。

エジプト神話では葦で作られた王笏（おしやく）にロバの耳がついているらしい。葦とロバの耳の繋がり興味深いテーマだ。石川達三の『風にそよぐ葦』の出典は聖書だろうか。

（新白井田 村田長保）



語呂合せと格言

電話番号や車のナンバーなど、語呂合せにこだわる人が多い。

八月八日をパパ・ハハの日として、国民の祝日にする運動が推し進められている。

四九四九七九八八
五六四八〇五〇一四
三七二一五五六
一一七一六五（老後）

など、きりが無い。
また、似通った漢字を間違えないための覚え方もある。
牛に角あり、午に角なし。
巳は上に、己に己（やむのみ）なかに、己（おのれちのこ）己下につくなり。
というのがある。

世の中には、すぐれた言葉や格言が数多くあります。

ないないづくし

なまけ根性で根気がない
根気がなければ仕事がない
仕事があれば儲けがない
儲けがなければお金がない

親の心がわからない

命の尊さがつかない

人だけ責めてさんげがない

人の悪口つつしまない

愚痴をこぼして喜ばない

口だけ上手で真実がない

うぬぼれ高慢徳がない

自己反省が一つもない

優しい心が見当らない

わかちやいるけど守らない

だから運命よくならない

つもり違い十か条

高いつもりで低いのが 教養
低いつもりで高いのが 気位
深いつもりで浅いのが 知識
浅いつもりで深いのが 欲望
厚いつもりで薄いのが 人情
薄いつもりで厚いのが 面皮
強いつもりで弱いのが 根性
弱いつもりで強いのが 自我
多いつもりで少ないのが 分別
少ないつもりで多いのが 無駄
みなさんもそのつもりで、
大いに運命よくしましょう。

（千成 宮本定雄）

裸の付き合い

夏の夕暮れ、里帰りをしていた四歳の女の子の孫と一緒に、お風呂に入った。久しぶりの裸の付き合いである。

体を流してやっていると、

さまざまな感慨が湧いてくる。

「純ちゃん、ばあばね、純ちゃんがお嫁に行く時まで生きられないかもしれないな」

「どうして？」と、純香は不思議そうな顔で聞き返した。

「人は誰でもたたくさん歳をとって死んでしまうのよ」

「じいじも？」

「そうよ」

純香は一瞬悲しそうに眉を曇らせた。そして、

「ばあばは何月何日に死ぬの？ あしたなの？」と、私の顔をじっと覗きこむ。

「それは誰にもわからないの、でもまだまだ大丈夫よ」

「どうしてみんな死ぬの？」

純香はまだ腑に落ちないようすだ。

「どうしてって、そうやって命は繰り返されていくの」

孫には難しかったかなと、

次の言葉を待っていた。すると、やや間があっていきなり、

「純香、ばあばの子産みたい」と言う。目が輝いている。

「そ、それはできないのよ」

予想もしない言葉に慌てた

が、幼子なりに小さな胸を痛め私を想い遣ったのだろうと思わず体を抱きしめていた。

ふと、故郷の銭湯での幼い日の出来事を思い出した。

私に、母が突然、

「母さんが死んだらどうする？」と聞いた。急に不安になつて泣き出した私を、母は、

「母さんが悪かった」と言つて、強く抱きしめてくれた。

その年の冬、母はそれを私への置き土産にし旅立っていた。

裸の付き合いは、心が風邪をひいてしまうのだろうか。

（上座 北原きみ子）

参道にて（一期一会）

母は金毘羅様のお参りを欠かしたことがなかった。自分が行けなくなると私に行かせた。そして母の死後は私がご利益をあてにして、毎月十日のお参りを続けている。

金毘羅様は午前中にお参りするものと聞いている。冬の朝は寒い。しかし、冷たい空

気の中に軒を連ねた露天に朝日が当たり始めるころには、

露天商の呼び声や参詣者のざわめきが活気を見せ始める。

ある日、何かの陰になつた一画があつた。大抵の店は日が当たっているのに、と思つ

たためか、この店の寒そうなねじり鉢巻のおじさんは私の記憶に強く残つた。しかし、

口をきくことがあるうとは思わなかつた。

お参りを済ませての帰り道、

混みあう通りの中で、何気なくポケットから手を出したとき、何かに触つたような気が

してはつとした。すると

「お金おとしたよ！」

と声がした。声の主は、なんとさつきの鉢巻のおじさんであつた。下を見ると百円玉と五十円玉が少しはなれて落ちていた。

「有り難うございました」

お礼を言つて拾い、五十円玉

をお店の板の上に置いた。おじさんはいらぬ、いらぬ

と言つたが無理においてきた。迷惑だつたかも知れない。

今思えばおじさんの売り物を少しでも買ったほうが良かった。しかし、気の利かない

私は、こういうことには大抵あとで気がつく。

ともあれ、まさか話をする

ことなどないだろうと思つた

このおじさんと、思いがけなく口をきく回り合わせになつたのは不思議だつた。

「金毘羅様のお引き合わせだよ」とあの世の母が言いそ

うだ。

（弥勒町 高橋 将）

11月の黒板

佐倉市民カレッジ文化祭のお知らせ

佐倉市民カレッジ生が、日頃の趣味の成果や研究発表などをおして多くの人との新たな交流と親睦を深めることを目的として行います。是非ご来場ください。

- 期 間** 11月13日(火)～17日(土)
時 間 午前9時30分～午後4時 (17日は午前11時まで)
会 場 中央公民館
内 容 展 示 絵画・写真・工芸・書・盆栽 他 研究・活動発表(13日)
イベント マイカレンダー(13日～15日)
佐倉のビデオ&トーク(13日、16日)
楽しい有機野菜作り(13日～16日)

*その他多くのイベントが開催されます。

問い合わせ 佐倉市立中央公民館 (第2・第4月曜日は休館日です)

電話 485-1801

URL <http://www.city.sakura.lg.jp/kominkan/cyuoou/index.htm>

わくら道

最近のテレビ、教養お試しの番組が多いと思いませんか? ドタバタは飽きられ、血液型は根拠がなく、健康情報は偽作だった。教養お試しは当然の帰結のような気がする。見るほうも、答えが合っていないれば悪い気はしない。暇つぶしにはもってこいなのでつい見てしまう。

漢字の読みはあっちこっちでよく出る。漢字だけで番組ができていくものもある。「漢検」の功績? 音読みは旁で読めばたいがい合っている。訓読みと当て字がテレビらしい問題になる。実はさくら道の「道」には「い(う)」という訓読みがある。当て字は阿蘭陀(オランダ)の如し。ふだん使わないことになっていく読みを当てさせる。教養をよそおっていても娯楽番組である。視聴率を上げる工夫は大変のようだ。

あがとき



今年の天候の変化はどうであらう、暑い暑い、むし暑いと団扇や扇子を使う人をよく見かけた。その暑さもどうやら終わったようだ。

今月号の投稿ほど私の心をうったものはない。年をとつてからの勉強のあり方、人の純真さ、幼児の近親の将来に対する不安、神話から人生の哀感、年をとらなければ集め

られない語呂あわせと格言、いずれも今まで余りそろつたのを見たことのない内容のものだ。

この平和である中に、最近の街の様子はどうであらうか、近親を含め、多くの殺人がテレビや新聞を賑わしている、誠に悲しいことだ。

こういう時こそよく読んでいただいて前向きな明るい話題を投稿して欲しいものである。

(長谷川)